

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年8月分）

見出し	0608-1 除雪対策について
ご意見	<p>昨年度の大雪に関し除雪が間に合わない事態になった事について伺いたい。</p> <p>①道路の除雪に関し、車のすれ違いが出来る様に除雪をお願いしたい。</p> <p>②除雪後の雪捨て場所を区長会に所有者からの事前了解をお願いしてはどうか。</p> <p>③除雪業者には、しっかりと除雪作業を行ってほしい。</p> <p>④除雪業者が年々減っており、除雪業者の把握に努め増やすべきではないか。</p>
回答	<p>昨年度の大雪時には、速やかに除雪業者に除雪指示を出して除雪対応いたしました。2月の観測史上2番目に多い大雪（最深積雪61cm）であったことに加えて、26日22時から27日8時まで久慈の観測地点で時間当たり降雪量が最大70mm、延べ380mm、山根の観測地点で時間当たり降雪量が最大80mm、延べ540mmとなるなど、除雪後から雪が降り積もり、改めて除雪を行うなど除雪作業に多くの時間を要しました。</p> <p>また、地域によっては、降雪量が多く倒木等も相まって、除雪作業が思うように進まず、除雪作業完了までに数日間を要する地域もございました。このように市民の皆様には、ご不便をお掛けいたしまして申し訳ございませんでした。現在、昨年度の除雪作業の検証を進めており、今後に向けて対策を進めて参ります。</p> <p>①大雪時など降雪状況等により幅員の確保が困難な場合には、できるだけ待避スペースの確保に努めてまいります。</p> <p>②除雪後の雪の捨て場所については、市内全体での利用を考慮する観点から、県や市が所有する場所を検討して参ります。</p> <p>③昨年度の除雪作業の検証を踏まえて、除雪事業者等としっかりと情報を共有して適切な除雪に努めて参ります。</p> <p>④除雪業者数は減少傾向にあり、ご提言のとおり、除雪業者の把握は必要不可欠であると認識しており、各地区市民センターを通じての情報収集に努め、また、町内会等との除雪ボランティアの協力を呼び掛けて参ります。</p>
担当課	道路河川維持課 電話：0194-52-2151

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年8月分）

見出し	0608-2 公道の草刈りについて
ご意見	南田地区の農面道(市道上長内日吉町線)の両端の草刈りを定期的に刈っていただきたい。
回答	<p>久慈市内の草刈りについては、年に2回、早朝1時間清掃（草刈り）を市民に呼びかけて、町内会等にご協力をいただいております。</p> <p>市道における草刈り等の対応については、パトロールの実施や市民等からの情報を基に、通行に支障や危険性がある場合には、市において、草刈り対応を実施しているところでございます。</p> <p>今後におきましても、安全・安心に市道を利用できるよう適切な維持管理に協力いただくと共に何かお気づきの点がありましたら情報提供下さるようお願いいたします。</p>
担当課	道路河川維持課 電話：0194-52-2151

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年8月分）

見出し	0608-3 住宅リフォームについて
ご意見	リフォームの補助事業は続いていますか。
回答	<p>まず、令和2年度及び3年度に実施した住宅リフォームの補助事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民の住環境の向上と、住宅関連産業の事業継続や雇用維持等を中心とした地域経済の活性化を図るため、市内施工業者による住宅のリフォーム工事を行う場合に要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付したもので、今後の再実施につきましては、国の新たな交付金等の動向を見ながら検討してまいります。</p> <p>次に、現在、当市で実施しているリフォーム関連の補助事業は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護高齢者及び重度身体障害者の自立と介護者の負担軽減のため、住宅の改善に要する経費について補助する「高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業補助金」 ・住宅・事業所等に太陽光発電システムを設置する場合に補助する「自家消費型再エネ発電システム導入促進事業補助金」 ・住宅又は店舗併用住宅に浄化槽を設置する経費について補助する「浄化槽設置整備事業補助金」 ・汲み取り便所や浄化槽から、公共下水道へ接続する個人住宅や貸家（新築住宅、事業所を除く）に対し補助する「公共下水道水洗化促進事業補助金」 ・排水設備工事を行い、汲み取り便所を水洗便所に改造する場合や、浄化槽を廃して排水管を公共下水道に接続する場合に補助する「水洗便所改造資金の融資あっせん及び利子補給」の補助事業を実施しております。 <p>事業の詳細につきましては、担当課までお問合せください。</p> <p>【担当課】</p> <p>住宅リフォーム：建設企画課 52-2120</p> <p>高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業補助金：地域包括支援センター 61-1112</p> <p>自家消費型再エネ発電システム導入促進事業補助金：港湾エネルギー推進課 52-2369</p> <p>浄化槽設置整備事業補助金ほか：上下水道整備課 52-2189</p>
担当課	建設企画課 電話：0194-52-2120

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年8月分）

見出し	0608-4 人口減少対策について
ご意見	少子高齢化について、平均寿命が高い国は、出生率が低くなるため、人口減少が進んでも安心して暮らせる地域社会、高齢者活躍を推進する地域づくりを目指してみてはどうか。
回答	<p>世界の国の平均寿命と合計特殊出生率について分析すると、強い負の相関があり、ご助言のとおり、少子高齢化は平均寿命の高い先進国に多い現象です。平均寿命が高い国のみを抽出し分析した場合、非常に弱い負の相関となり、先進国の合計特殊出生率は、ばらつきが大きく、国民性や国の施策等によって差が生じていると認識しております。</p> <p>地方自治体においては、人口減少・少子高齢化が進むと、税収や地方交付税が減少し、市民サービスの低下につながる可能性が高くなります。当市でも人口減少・少子化対策は最大の行政課題であると捉えており、人口減少と地域経済縮小の克服、地域課題の解決に向け「久慈市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、安定した雇用の創出、結婚・出産・子育てへの支援、久慈市への人の流れづくり、災害からの復興と安心・安全なまちづくりに取り組んでいます。</p> <p>一方でご提言のとおり、人口減少に即した、持続可能な地域社会の形成も必要であり、高齢者活躍は重要な視点であると捉えております。久慈市の65歳以上の割合は約33%（令和2年国勢調査）、令和27年には約43%（久慈市人口ビジョン）になると予測されており「生涯活躍のまち」の推進に向け、高齢者の生きがいづくり、シルバー人材センターとの連携、協働による地域づくり活動の支援など、さまざまな事業を実施しています。今後も効果的な事業の推進にむけて、引き続き検討してまいります。</p>
担当課	政策推進課 電話：0194-52-2115

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年8月分）

見出し	0608-5 参加型の市民サービスについて
ご意見	参加型の市民サービスの実現に向け、提案者全員に褒賞を支給する「改善提案制度」を実施してはいかがでしょうか。
回答	<p>参加型の市民サービスの実現について、市では市民の声を広く聞くため、市政懇談会、市長と話そうふれあいトーク、市長への手紙などを実施しております。コロナ禍以前の平成30年度の数値となりますが、市政懇談会には約170人が参加し、400件を超える提案をいただきました。車座になって身近な意見を自由に話し合う「市長と話そうふれあいトーク」には、13団体から申し込みがあり、152人の参加となりました。市長への手紙では、毎年100件程度の提案をいただいています。</p> <p>皆さまからいただいた、久慈市の将来や事業に対するアイデアや提案は、さまざまなかたちで市政運営に取り入れ「子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち久慈」の実現に向け、市民の皆さまと一緒にまちづくりを進めています。</p> <p>ご提言いただきました、提案者全員に褒賞を支給する「改善提案制度」の実施については、提案の増加や市民参加型の市政運営推進の可能性があると捉えております。市民参加による市政運営の推進に向け、現状の制度の周知強化、新たな広聴活動の手段について研究し、より多くの市民の皆さまから提案をいただけるように努めてまいります。</p>
担当課	政策推進課 電話：0194-52-2115

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年8月分）

見出し	0608-6 教員の働き方改革について
ご意見	教員の働き方改革について、教職員や子どもたちの生の声が反映されるような形での学校改革をしていけるような仕組みづくりをお願いしたい。
回答	<p>学校の働き方改革につきましては、久慈市教育委員会といたしましても喫緊の課題であると捉えています。</p> <p>久慈市教育委員会では、市内の小中学校の教職員が、ワーク・ライフ・バランスを確保しながら、健康でいきいきとやりがいをもって子どもたち一人ひとりと向き合うことができる時間を少しでも多く確保することを目指し、令和5年3月に「久慈市立小中学校教職員働き方改革プラン」を策定し、久慈市立小中学校衛生委員会の取組を中核とした「学校の取組支援」、教職員をサポートする専門スタッフの配置やICT整備による「環境整備」、そして、産業医の保健指導や面接指導等による「健康確保」の3つの柱を視点とした施策を進めているところです。</p> <p>本プランに基づく取組により、市内の教職員の一人当たりの時間外在校等時間は着実に減少してきているところではございますが、依然として長時間勤務となっている教職員もおり、一層の働き方改革に向けた取組や環境整備が必要であると認識しているところであります。併せて、全県的かつ全国的な課題となっている教職員不足については、当市においても同様の傾向であり、深刻な問題であると捉えているところであります。県内の各市町村及び各市町村教育委員会、そして岩手県教育委員会と連携を図りながら、全国市長会や全国教育委員会連合会等を通じて、教職員の配置や加配制度の拡充、支援スタッフの配置等について、制度上の改善及び財政措置を講ずるよう国に対して要望していただいているところです。</p> <p>ご提言いただきました教職員や子どもたちの生の声を反映していく仕組みづくりにつきましては、今後の施策をさらに進める上で極めて重要な視点であると受け止めているところであります。ご提言いただいたことを参考とさせていただき、教職員の生の声や子どもたちの声にさらに耳を傾け、教職員がいきいきとやりがいをもって、久慈市の子どもたちに質の高い教育を保障することができるよう、働き方改革を力強く進めてまいります。</p>
担当課	学校教育課 電話：0194-52-2155

「市長への手紙」HP掲載データ（令和6年8月分）

見出し	0608-7 議会改革について
ご意見	市民が市政に積極的に関わるためには、議会が市民にとって魅力的な場となることが重要。市民の興味を引くような工夫を取り入れ、活気ある議会にすることで、市民の関心を高め、市政への参加を促すことができる。品位を保ちつつ、市民が理解しやすく、楽しめるような議会運営を目指すべきでは。
回答	<p>議会改革として、市民が議会に興味・関心をもっていただくためには、ご提案のとおり演出的な効果を高めるのも一つの方法とは思いますが、久慈市議会としては、市政発展のため市と議会が議論している内容を多くの市民に知っていただくとともに、議会として市民が日頃疑問に感じている市政の話題について市民の声を聴きながら市政に反映させる活動を行っています。</p> <p>具体的には、議会報「かだってタイムズ」の発行やインターネットを活用した議会・各委員会の中継、議会モニター制度の活用などになります。</p> <p>今後も、市民が議会に興味・関心をもち、市政の発展のための議論が深まるよう努力してまいります。</p>
担当課	議会事務局 電話：0194-52-2188